



おかむら まこと

岡村 真さん講演会

高知大学防災推進センター客員教授

演題

南海トラフ地震に備える

— 伊方原発の危険性について



岡村 真

内閣府中央防災会議「南海トラフの巨大地震モデル検討有識者会議」委員、高知県南海地震条例づくり検討会会長、など歴任



■と き 2024年 **11月24日(日)** 14:00~16:00 (開場 13:30)

■ところ 大分市 J:COM ホルトホール 2階 201・202 会議室

■入場料 前売 700 円 (電話予約可) / 当日 1,000 円 / 高校生以下無料

● 講演会開催にあたり

立て続けに大きな地震に襲われました。4月17日深夜 M6.6の豊後水道を震源とする地震。8月8日夕刻 M7.1の日向灘沖を震源とする地震。この時には初めて「南海トラフ地震臨時情報」が出されました。

私たち伊方原発をとめる大分裁判の会は、伊方原発は大丈夫なのか、ということが非常に心配です。そのことを含めて、大分県民として、予想される南海トラフ地震に対してどのように対処すべきなのか、地震学の権威である岡村真先生をお招きし、共に真剣に備えについて考えたいと思います。

「ふるさと大分の原発被害を許さない」— 2016年9月28日、大分裁判の会は、大分地裁に提訴しました。27回の口頭弁論を経て、2024年3月7日に不当判決が出て、福岡高裁に即日控訴しました。控訴審の276名の原告と裁判を応援する多くの皆さんと共に、これからも伊方原発の危険性を訴えます。

私たちは、安心して暮らせる「ふるさと」を未来につなげてゆきたいと願っています。

主催：伊方原発をとめる大分裁判の会

問い合わせ TEL 090-7153-8775 メール info@anti-ikata.org (森山)